

津山市は、岡山県の北東部に位置し、北部の傾斜地は、中国山地の一角を形成している。市街地の中央部を吉井川が貫流し、南部は、「津山盆地」が広がっている。本市の歴史的風致は、古来から出雲往来に関連して形成されてきた。慶長8年(1603)森忠政が美作国に入国し、「津山城」を築城すると、津山城を中心に東西の寺町、職人町などをはじめとした城下町や往来が整備され、現在も、城下町の都市構造(曲がり等を含む城下町特有の通り、職人町等の町割り)や歴史遺産(城跡、町家、武家屋敷、寺社群や、それらが一体となった町並み)が数多く残る。このようなまちを舞台に、人々の暮らしの中に、津山まつり、寺社、往来、河川、鉄道にみる歴史的風致が形成されてきた。

01.津山まつりを見る歴史的風致

江戸時代から行われてきた「津山まつり」は、津山の歴史的な町並みや寺社群、近代の建造物等が残る市街地を、多くのだんじりが市民や子供たちと共に練り歩く祭りで、守るべき歴史的風致が形成されている。

津山まつりのだんじりの様子 ▶



02.寺社群を見る歴史的風致

城下町に見られる豊かな寺社群、津山独特の建築様式「中山造」の神社、また農村部には祭や行事の中心となる寺社が多数存在する。寺社は地域にとって欠かすことのできないものであり、農村・城下町を問わず、全体として守るべき歴史的風致を形成している。

城下町の寺社群 ▶



03.城下町と往来を見る歴史的風致

出雲往来は播磨国姫路と出雲国松江を結ぶ道で、津山城下町を東西に貫いている。かつて商人がこの道沿いに集住し、津山城下経済のメインストリートであった。人やモノの往来により、各地の文化もこの道を通ってもたらされ、歴史的な風致が育まれてきた。

作州鎌の製作風景 ▶



04.河川に見る歴史的風致

吉井川や宮川は津山城下に暮らす人々の生活に物心両面で多大な影響を与えてきた。江戸時代以降現代まで数多くの水害の被害に見舞われたことで津山の町づくりは治水に力が注がれてきた。川の流れるは恵みをもたらすと同時に、畏怖すべき存在として歴史的風致を形成してきた。

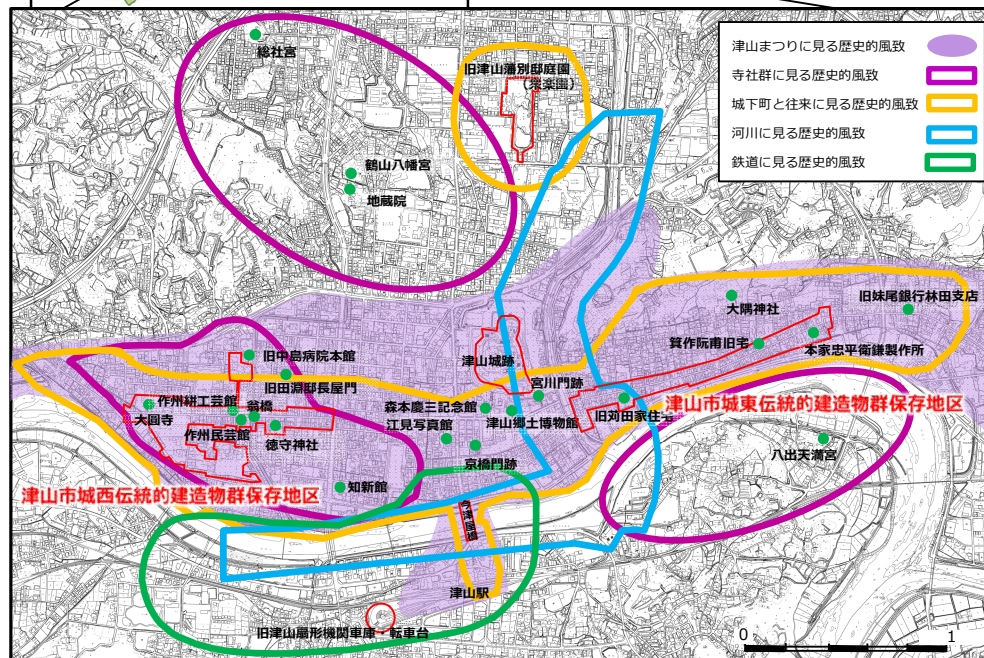
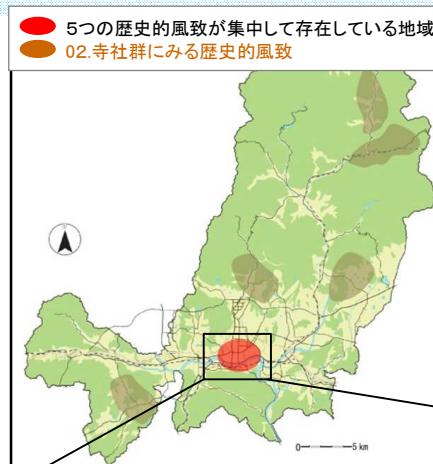
ごんごまつりの様子 ▶



05.鉄道に見る歴史的風致

明治後期に鉄道が開通したことにより、城下町の様相に変化が起きた。鉄道は社会や地域とともに発展しており、人々の暮らしに深くかかわっている。津山ではそうした鉄道をめぐる歴史的風致が守り続けられてきた。

扇形機関車庫と転車台 ▶



0 1

津山市における重点区域における事業の概要

＜重点区域＞

津山城跡及び伝統的建造物群保存地区等を中心とした周辺地区
約412ha

津山まつりが行われる城下町の区域、価値の高い寺社等の歴史的建造物や活動が長きにわたって継承されている地域、豊かな自然と景観を形成している河川、津山の近代化を支え、社会や地域の発展に寄与し、人々の暮らしに深く関わっている鉄道等の歴史的風致を包括する範囲を重点区域として設定する。

歴史的建造物の積極的な保全と活用に関する事業

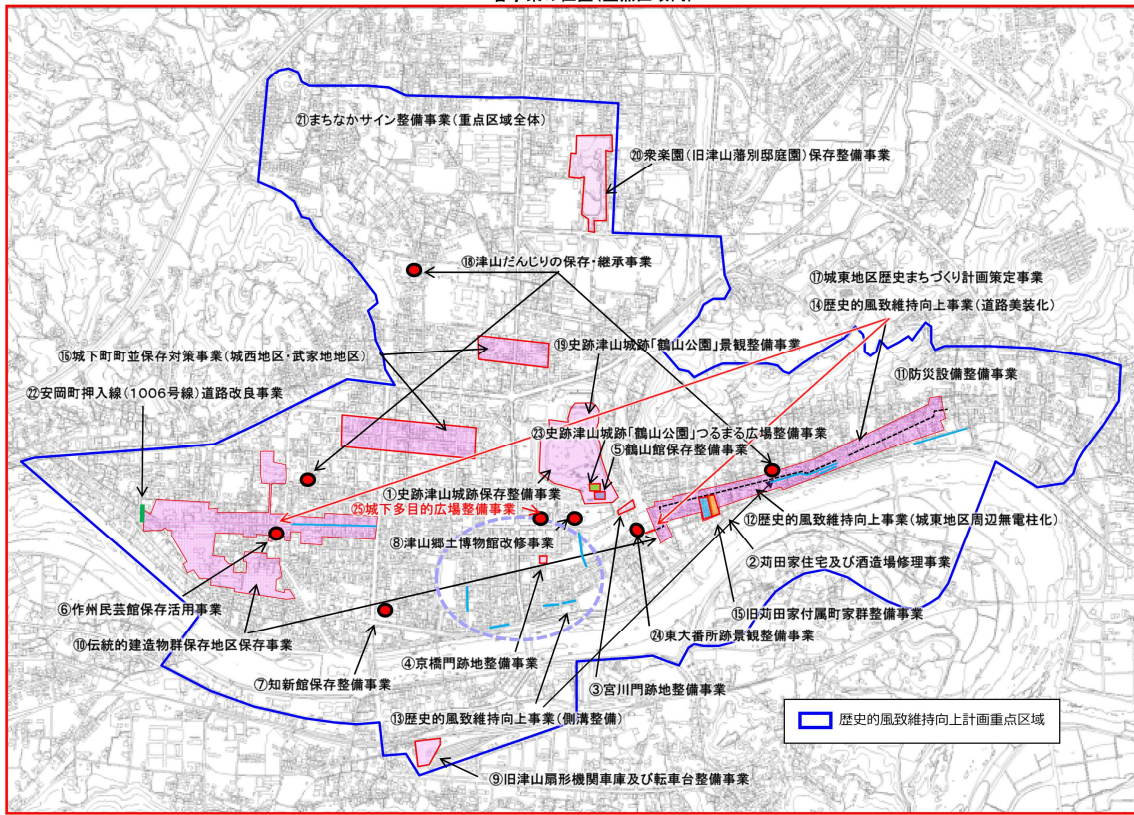
- ①史跡津山城跡保存整備事業
- ②苅田家住宅及び酒造場修理事業
- ③宮川門跡地整備事業
- ④京橋門跡地整備事業
- ⑤鶴山館保存整備事業
- ⑥作州民芸館保存活用事業
- ⑦知新館保存整備事業
- ⑧津山郷土博物館改修事業
- ⑨旧津山扇形機関車庫及び転車台整備事業



史跡津山城跡保存整備事業▶



苅田家住宅及び酒造場修理事業▶



歴史的町並みの保全と活用に関する事業

- ⑩伝統的建造物群保存地区保存事業
- ⑪防災設備整備事業
- ⑫歴史的風致維持向上事業（城東周辺地区無電柱化）
- ⑬歴史的風致維持向上事業（側溝整備）
- ⑭歴史的風致維持向上事業（道路美装化）
- ⑮旧苅田家付属町家群整備事業
- ⑯城下町町並保存対策事業（城西地区・武家地地区）
- ⑰城東地区歴史まちづくり計画策定事業



旧苅田家付属町家群整備事業▶

◀ 城下町町並保存対策事業（城西地区・武家地地区）



伝統行事及び工芸技術などの伝統文化の継承、後継者の育成に関する事業

- ⑱津山だんじりの保存・継承事業



津山まつりの津山だんじり ▶

歴史的建造物の周辺環境の整備に関する事業

- ⑲史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業
- ⑳衆楽園（旧津山藩別邸庭園）保存整備事業
- ㉑まちなかサイン整備事業
- ㉒安岡町押入線（1006号線）道路改良事業
- ㉓史跡津山城跡「鶴山公園」つるまる広場整備事業
- ㉔東大番所跡景観整備事業
- ㉕城下多目的広場整備事業



▲城下多目的広場整備事業



▲まちなかサイン整備事業